

## 非常時の持ち出し品リスト

いざという時のために日頃から備えを！

### 水・食料

- 食料、お菓子など（2～3食分）
- 飲料水
- 紙皿、紙コップ
- 粉ミルク



### 救急・安全

- 包帯、ばんそうこうなど
- 常備薬
- 眼鏡・コンタクトレンズなど



### 日用品

- ヘッドライト
- 携帯ラジオ
- タオル
- ティッシュ
- マスク
- ビニール袋
- 紙おむつ



### 貴重品

- 預金通帳、カード
- 免許証、保険証、印鑑など



### その他

- 着替え
- 簡易的な寝具
- モバイルバッテリー
- 避難場所でリラックスできるもの（周りの迷惑にならないもの）

風水害から身を守るために



近年、大雨や暴風などにより日本各地で大きな被害が発生しています。雨が多くなる時期を前に、発生時の対応などについて改めて確認し、備えましょう。

風水害発生時の避難場所は、長期

間の避難を想定していません。避難をするときに、何を持っていくかを判断するのはとても難しいことです。食料や飲料水、寝具など必要なものを準備して、慌てずに行動できるようにしましょう。

問合せ先 丹羽消防署 予防課

☎95-5158

— 普通救命講習会 —

日時 5月21日（土）

午前9時から正午

場所 丹羽消防署 扶桑出張所

申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署

大口出張所

☎95-5151

☎95-0119

## 町史編さん室だより

### 町制施行周年事業①

大口村から大口町になったのは、昭和37年4月1日のことでした。令和4年度は、町制施行60周年の記念の年となります。現在、編さんしている『大口町史 現代史編』も、町制施行60周年の記念事業のひとつとして、年度末に刊行する予定です。昭和57年に刊行した『大口町史』も、町制施行20周年記念事業のひとつでした。

町制が施行された昭和37年には、4月13日（金曜日）午前10時30分から公民館で町制記念式典、午後1時30分からは警察音楽隊を招いての演奏会がありました。翌日には、各地区の子ども会が創作みこしとともに、南小学校と北小学校を起点に公民館までパレードをおこなっています。また、正午から

3時30分までは、中学校の校庭で町民体育祭がおこなわれ、その中で「祝大口」の人文字が撮影されました。併せて午後2時30分から6時まで公民館で町民演芸会がおこなわれました。

昭和41年には、明治39年に大口村が誕生して60年にあたることから、10月15日に大口創立60周年・町制施行5周年記念式典をおこなっています。

町制施行10周年となる昭和47年には、町章のデザインを公募し、819点の応募の中から現在の町章が決まりました。また、現在の町民会館付近にあった役場庁舎も、場所を移し現在の鉄筋コンクリート3階建てとなりました。4月11日に着工し、12月15日に竣工記念と併せて町制施行10周年記念式典がおこなわれました。

問合せ先

町史編さん室 ☎95-3464



▲南小学校を出発する子ども会パレード（昭和37年）



▲中学校の校庭で「祝大口」の人文字（昭和37年）



▲役場前で演奏する鼓笛隊（昭和41年）